

# I 学校の概要

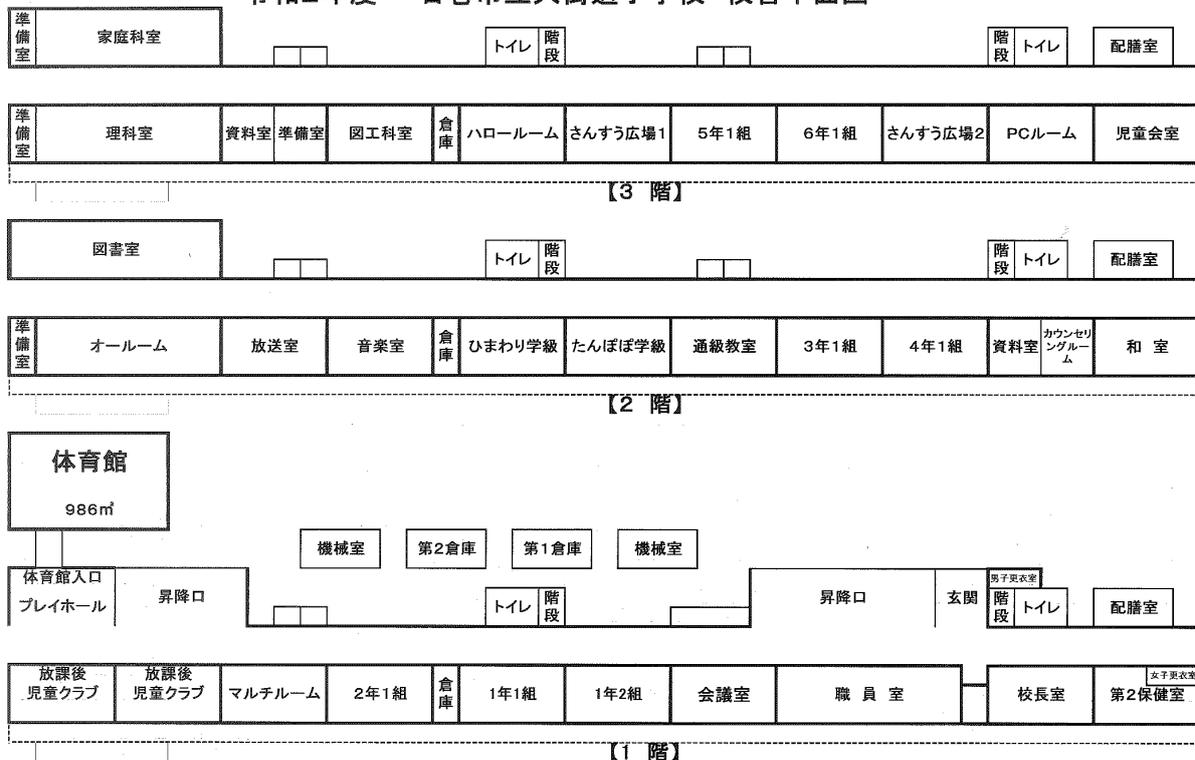
## 1 学校の現状

- (1) 学校名 宮城県石巻市立大街道小学校
- (2) 所在地 〒986-0856 宮城県石巻市大街道南1丁目3番1号  
TEL 0225-96-3123 FAX 0225-96-6006
- (3) 開校 昭和55年4月（開校記念日は4月26日）
- (4) 施設概要

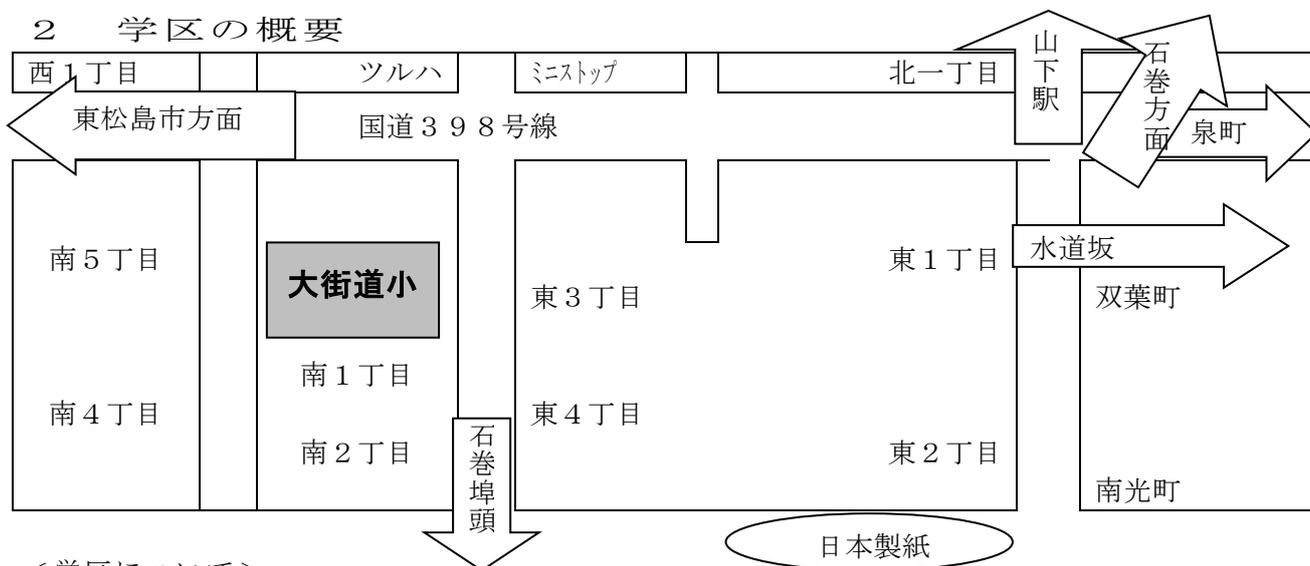
校地面積	16,909㎡	
運動場面積	9,034㎡	
校舎	総面積	鉄筋コンクリート3階建 総面積 4,619㎡
	普通教室	67.8㎡（室数：15）
	特別教室	①図書室 ②音楽室 ③理科室・準備室 ④家庭科室・準備室 ⑤図工室・準備室 ⑥相談室 ⑦資料室 ⑧コンピュータ室 ⑨算数広場 ⑩和室 ⑪児童会室 ⑫オールーム（旧視聴覚室） ⑬ニコニコルーム ⑭マルチルーム ⑮通級教室
	管理室	①職員室 ②校長室 ③保健室 ④放送室 ⑤更衣室2 ⑥放課後児童クラブ室 ⑦倉庫3 ⑧配膳室3
屋内運動場	鉄筋平屋建 986㎡	
プール	25m×11m	
飼育小屋	20㎡（平成25年10月撤去済み）	

## (5) 校舎平面図

令和2年度 石巻市立大街道小学校 校舎平面図



## 2 学区の概要



### <学区について>

平成19年9月1日住所表示変更により、大街道北一・二・三・四丁目、大街道東一・二・三・四丁目、大街道南一・二・三・四・五丁目、大街道西一丁目及び双葉町の一部が学区となっている。

[石巻市立小学校及び石巻市立中学校の通学区域に関する規則より]

### <地域について>

本校は石巻市の西南部に位置し、一辺が約1.5kmに囲まれた学区である。校名は、古くからゆかりのある地名に起因するが、市民の公募により決定された。

この地は、明治維新により武士失業救済のために未開地であった大街道の開墾が計画され、戊辰の役で活躍した細谷十太夫が開墾場長として、入植者の努力により事業が完成し、今日の基礎が築かれた。

昭和15年近くに東北パルプ工場（平成5年日本製紙石巻工場と改名）が設立され、昭和42年には石巻工業港が開設され、学区南側は臨港工業地域となった。これにともない人口の流入が見られ、人口が7,000人を超える住宅地となり昭和55年石巻市立釜小学校、門脇小学校の一部を再編成して市内23番目の小学校として設立された。学区の中央部を南北に臨港線、東西に国道398号線が走り、国道沿いは商業地域となっている。

東日本大震災の際は、本校では玄関の高さまで津波が来た。震災の影響で居住可能地域が縮小されたが、5年目が経過し住宅を立て直し戻ってきている家庭もある。かさ上げ道路や復興住宅の建設などが進んでおり、今後住環境が大きく変わることが予想される。

### <児童について>

児童は素直で明朗である。昨年度より全教育活動を通して、道徳教育に取り組んできている。また、あいさつ運動を続けているため、自ら挨拶をする児童も多くなってきている。児童の多くの家庭は保護者が共働きをしている。帰宅した児童を祖父母が迎える家庭もあるが、放課後児童クラブに通う児童や、家の鍵を預けられ、保護者が帰宅するのを待っている児童も多い。

また、震災後5年が過ぎ、学区外通学児童は20数名と少なくなってきている。また、家庭環境の変化などで児童を取り巻く新たな課題が出てきたため、新たに心のケアが必要な児童も出てきているので、配慮が必要である。

## 3 校章



大街道小学校の大と小を図案化したもの。

「大」は旭日輝く大空に翼を広げて羽ばたく生氣あふれる鳥（鳩）のように、大街道小健児が創造性豊かで、雄々しくたくましく将来に向け、社会のために寄与するよう飛躍発展することを期待する。

また、下の丸い線は、古くからの街道を表にし、友情と和を象徴し校章とする。 地：オレンジ 大：銀系 小：金系 まわり：白糸

考案者：第2代父母教師会 会長 阿部 光彦 氏（学校運営懇話会委員）

### 3 校歌・児童会の歌

#### 大街道小学校 校歌

阿部 秀一 作詞  
原谷 秀一 作曲

♩ = 90 軽快に

昭和十六年三月十八日制定

大街道小学校校歌

作詞 阿部 秀一  
作曲 原谷 秀一

一  
牧の山なみ 遠く見ゆ  
北上の水ゆくところ  
思えば英知がわいてくる  
ああ若わがいそひとみ  
大街道小学校 栄えあれ

二  
牧塵寮の昔より  
町を拓いた人たちを  
思えば勇気がわいてくる  
ああすこやかなそのいのち  
大街道小学校 栄えあれ

三  
工業港の海 近く  
鴟が呼んで 朝の空  
思えば希望かわいてくる  
ああさよなら その未来  
大街道小学校 栄えあれ

#### 白ぼと児童会の歌

佐藤裕子 作詞  
小林千恵 作詞  
芳賀千晶 作曲

1. おおぞら たかく しろいは一と  
2. あおぞら ひろく しろいは一と

ちからを あわせ ほくらはなかま  
かたくみ あって みんなはなかま

てにてを どーって いちにさん  
かがやく みらいへ いちにさん

かーぜの なかへと さあ とほう  
ひかりの なかへと さあ とほう

一、大空高く 白いはと  
力を合わせ ぼくらは仲間  
手に手をとって 一二三  
風の中へと さあとほう

二、青空高く 白いはと  
肩組み合って みんなは仲間  
輝く未来へ 一二三  
光の中へと さあとほう